

# 梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.36

2008(平成20)年6月に東松山市ステーションビルと東松山駅東口南側広場が、2010(平成22)年4月に同駅東口北側広場がオープンしました。それ以前の東口は、送迎車両やバスの乗降などで、歩行者と車が交差する危険な状況でした。そこで、市民、事業者、行政が一体となり整備が進められ、誰もが安全で安心して利用できる現在の形に生まれ変わりました。

タクシー乗降場や一般車乗降場は段差をなくし、車いすやベビーカーでも通りやすくなっているんだよ。



市の歴史や文化と調和する魅力的な景観になったね。



## 「東松山市ステーションビル・東松山駅東口駅前広場」オープン 2008(平成20)年・2010(平成22)年



### キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん



ミューやん



タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



ひがしまつやま  
キッズ集合!

おしえて『文化財』

くにしていじゅうようぶん かざい  
国指定重要文化財

もくぞう あみだ にょらい ざぞう  
木造阿弥陀如来坐像

ぶんかざいちょうさ ひつよう  
～文化財調査に必要なこと～

文化財を調べるときには、文化財そのものだけでなく、それが造られた当時の状況も一緒に調べ、想像しながら進めていくことが必要です。

等覚院(古凍)にある木造阿弥陀如来坐像は、ヒノキの木材を組み合わせて造られた仏像です。胎内(胴体の内側)に、建長5(1253)年に大檀那阿闍梨明秀という人物が寄付を集め、仏師である僧定性に修理させた、という墨書がありました。「修理」ということから、仏像ができたのはこれより前の鎌倉時代初めごろと解釈されてきましたが「修理」という言葉には当時「造る」という意味も含まれていたことなどから、建長5(1253)年こそが、この仏像を最初に造ったときと考えることもできます。



木造阿弥陀如来坐像

問 埋蔵文化財センター  
TEL 27-10333 FAX 27-10334